入札公告の訂正について

平成26年 2月20日 (契約責任者) 東日本高速道路株式会社 北海道支社 支 社 長 小島 治雄

平成25年11月22日付けで入札公告を行いました「北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事」に係わる入札公告の内容の一部に誤りがありましたので、別添のとおり訂正します。

【訂正内容】

・入札公告 別添「正誤表」をご覧ください

工事名) 北海道構断自動車道 蘭島トンネル工事

単価表 (2 頁)		Д	誤								E				
(2 頁)															
		単 循 表					B- 2 頁			単 価 表					В-
番号	号 項目番号	項目	数量	単位	ijt (Hi	金 額	擯 要	番号 項	日番号	項目	数量	単位	単価	金 額	摘虫
13	13 2 - (6)	構造物掘削 普通部	13, 551	m³				13 2 -	(6)	構造物掘削 普通部	13, 551	m²			
14	14 2 - (7)	構造物裏込め工 裏込め工 A	72	m²				14 2 -	(7)	構造物裏込め工 裏込め工 A	72	m²			
15	15 2 - (8)	基礎材 B	155	m²				15 2 -	(8)	基礎材 B	155	m³			
16	16 4 - (3)	種散布工 種散布工	23, 177	m²						種散布工 種散布工	23, 177	m²			
17	17 4 - (4)	種吹付工 種吹付 A (客土)	3, 499	m²						種吹付工 種吹付 A (客土)	3, 499	m²			
18	18 4 - (5)	植生基材吹付工 人工基材 ($t = 3 cm$)	7, 957	m²						植生基材吹付工 人工基材 (t=3cm) 金網入り	7, 957	m²			
		吹付のり枠工 A	209	m²						吹付のり枠工 吹付のり枠工 A	209	m²			
		コンクリートプロック積工 コンクリートプロック積み (練) 控35 cm A	229	m²						コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み(練) 控35cm A	229	m²			
		コンクリートプロック積工 コンクリートプロック積み (練) 控35cm B	322	m²						コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み (練) 控35cm B	322	nî			
		裏込め砕石	174	m²						裏込め砕石 裏込め砕石	173	m³			
		コンクリート基礎工 A(F)	39	m				23 4 -		コンクリート基礎工 A (F)	39	m			
24	24 4 - (17)	基礎工 コンクリート基礎工 C	25	m			<u>p</u>	24 4 -	(17)	カンクリート基礎工 C	25	m			

丁事名) 北海道構断自動車道 蘭鳥トンネル丁事

対 象		誤				正				
単価表										
(3 頁)										
			B3頁							
	単 循 表				単 価 表					
	番号 項目番号 項 目 25 4-(17) 基礎工	数量 単位 単 価	金 額 摘 要	番号 項目番号 25 4-(17)	基礎 工	数量	单位	堆 価	金 額	
	コンクリート基礎工 C (F) 26 4-(17) 基礎工	51 m		26 4 - (17)	コンクリート基礎工 C (F) 基礎工 コンクリート基礎工 D	51 35				
	コンクリート系統エ D 27 4-(19) ふとんかごエ	35 m 9 枚		27 4 - (19)			枚			
	1. 2m・0. 5m・2. 0m・1 3cm 28 特 - (3) のり面保護工 のり面保護網 A	9 枚		28 45 - (3)		3, 346	m²			
	97回珠波明 A 29 特 - (4) かごマットエ A	4 m²		29 特 - (4)		4	m²			
	30 特 - (5) 補強土壁工 A	269 m²		30 特 - (5)	補強土壁工 A	269	m²			
	31 5-(1) 用·排水溝 PuL·0, 30·0, 30	1, 667 m		31 5 - (1)	用·排水滯 PuL·0.30·0.30	1,662	m			
	32 5-(1) 用·排水溝 PuL・0、45・0、45	320 m			PuL·0. 45·0. 45	320	m			
	33 5 - (1) 用・排水溝 PuL・0、60・0、60	318 m			PuL.0.60.0.60	319	m			
	34 5 - (1) 用・排水溝 PuL(S1)・0.30・0.30	76 m		34 5 - (1) 35 5 - (1)	PuL (S1) · 0. 30 · 0. 30	76	m			
	35 5-(1) 用·排水機 PuL(S1)・0.45・0.45	38 m		36 5 - (1)	PuL (S1) • 0. 45 • 0. 45	38	m			
	36 5-(1) 用・排水溝 〒(D1)・0.30・0.30(F)	4 m		00 0 (1)	U (D1) · 0. 30 · 0. 30 (F)	5	m			

工事名) 北海道構断自動車道 蘭島トンネル工事

対 象		誤							正				
単価表													
(4 頁)													
						B- 4頁							
	JA 65							単 価					
	番号 項目番号 項 目 37 5-(1) 用・排水溝	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	番号 項目 37 5 -	1) 用・排水溝	数量	単位	単 価	金 額	
	① (D2)・0.45・0.45 (F) 38 5-(1) 用・排水溝 ① (GL1)・0.30・0.30 (F)	10						① (D 2) · 0. 45 · 0. 45 (F) 1) 拥 排水溝 ① (G L 1) · 0. 30 · 0. 30 (F)		m			
	39 5 - (1)	1,610					39 5 -	1) 用・排水溝 K (1) -Bf・0. 300・0. 200 (10)	1,610				T
	40 5-(1) 用·排水滞 K(1)-Bf・0.450・0.295(10)	210					40 5 -	(1) 用・排水溝 K (1) -Bf・0. 450・0. 295 (10)		m			
	41 5-(1) 用·排水器 K(cb)-Bf·0.300·0.200(10)	30	m				41 5 -	用・排水溝 K (cb) -Bf・0.300・0.200(10)		m			
	42 5 - (1) 用・排水溝 Dv-Pu・0.30・0.30 (10)	373	m				42 5 -	1) 用・排水溝 Dv-Pu・0. 30・0. 30 (10)	373	m			
	43 5 - (1) 用・排水溝 Dv-P (Po)・φ0.20	197	m				43 5 -	1) 用・排水溝 Dv-P (Po)・φ 0. 2 0	196	m			
	44 5 - (1) 用・排水溝 Dv-P (Po)・φ0.30	15	m				44 5 -	1) 用・排水溝 Dv-P(Po)・φ 0.30	15	m			1
	45 5 - (1) 用・排水器 Dv-P (Po)・φ0.40	9	m					1) 用・排水溝 Dv-P (Po)・φ 0. 4 0	9	m			1
	46 5-(1) 用·排水溝 Ev-B(A1) 47 5-(1) 用·排水溝	618	m					1) 用·排水溝 E v - B (A 1)	618	m			_
	47 b - (1) 用:排水幣 E v - C (A) 48 5 - (2) 用:排水管	594	m					1) 用·排水溝 E v - C (A)	594	m			+
	P (Po) · \(\phi \) 0 . 40 (S d - B)	484	m				48 5 -	用・排水管 P (Po-B)・φ 0.40 (Sd-B)	485	m			

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

対 象		言い	呉						I	Ξ				
単価表														
(5頁)														
							В- 5 Д							
		単 価 表	T						単 価 表					
	番号 項目番号 49 5-(2)	用・排水管	数量	単位	単 価	金 額	摛 要	番号 項目番号 49 5 - (2)	用・排水管	数量	単位	単 価	金 額	
	50 5 - (2)	P (Po) · 60. 45 (Sd-B) 用・排水管	138					50 5 - (2)	P (Po-B)・φ0. 45 (Sd-B) 用・排水管 B (N)・2・40 (Sd-B)	138	m			
	51 5 - (2)	P (H)・2・φ 0. 4 0 (S d - B) 用・排水管		m				51 5 - (2)	P (H)・2・φ 0. 4 0 (S d - B) 用・排水管 P (H)・2・φ 0. 7 0 (S d - B)	26	m			
	52 5 - (2)	P (H) ・2・¢ 0. 70 (S d - B) 用・排水管 P (H)・1・¢ 0. 30 (360°)	27 9	m m				59 5 - (2)		9	m			
	53 5 - (2)		6					52 5 - (2)		6	m			
	54 5 - (3)		50					54 5 - (3)	Type A	50	箇所			
	55 5 - (3)		17	箇所				55 5 - (3)	Туре В	18	箇所			
	56 5 - (3)	Туре С	12	箇所				56 5 - (3)	Type C	12	箇所			
	57 5 - (3)	Type D	2	箇所				57 5 - (3) 58 5 - (3)	Type D		箇所			
	58 5 - (3) 59 5 - (3)	Туре Е	8	箇所				59 5 - (3)	Type E 集水ます		箇所			
	60 5 - (3)	Type F	23	箇所				60 5 - (3)	集水主す		箇所			
	00 3 (3)	Type L	2	箇所					Type L	2	箇所			

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

73 74 75 76	74 7 - (1) 75 8 - (1)	I型 基礎核 場所打ちコンクリート核 (機模類例, φ1, 500) コンクリート	数章 282	排松	鞋 飯		В- 7 Д	.14 (fb) 32:			В-
73 74 75 76	73 6 - (1) 74 7 - (1) 75 8 - (1)	項 目 連目エ I型 基礎核 場所打ちコンクリート杭 (機械郵例、 ø 1.500) コンクリート		単位	単価			邛 偷 表			В-
73 74 75 76	73 6 - (1) 74 7 - (1) 75 8 - (1)	継 目エ 1型 基礎 場所打ちコンクリート杭 (機械類利, 61, 500) コンクリート		単位	単 価			N .			
73 74 75 76	73 6 - (1) 74 7 - (1) 75 8 - (1)	継 目エ 1型 基礎 場所打ちコンクリート杭 (機械類利, 61, 500) コンクリート				金 額	摘 要	番号 項目番号 項目番号 数量	単位 単 価	金 額	摘
74 75 76	74 7 - (1) 75 8 - (1)	基礎に 場所打ちコンクリート杭 (機械掘削, 61.500) コンクリート	282					73 6-(1) 線日工			
75	75 8 - (1)	コンクリート						1型 282 74 7 (1) 基礎帖 場所打ちコンクリート核 (機械解例、φ 1.500) 822			
76			822					75 8-(1) コンクリート			
	10 0 (1)	A1-3	4, 111	m				76 8 - (1) コンクリート			
77		B 1 - 3	51	m²				B1-3 51 77 8 (1) コンクリート			
	77 8 - (1)	B 2 - 1	1, 972	m³				78 8 - (1) = 20 9 - 5	m		
	78 8 - (1)	コンクリート C 2-1	54	m³				79 8 - (1) 2299-F	m'		
79	79 8 - (1)	コンクリート C2-1 (T)	6, 286	mi				C 2 - 1 (T) 6,286	m²		
80	80 8 - (1)		167					80 8 - (1) コンクリート D 1 - 1 167	m²		
81	81 8 - (1)	コンクリート						81 8-(1) コンクリート T1-4 2,910	m		
82	82 8 - (1)	T1-4 コンクリート	2, 910					82 8 - (1) コンクリート T 3 - 4 (A) 971	mi		
	83 8 - (1)	T 3 – 4 (A)	3, 975	mi				83 8 - (1) コンクリート T 3 - 4 (B) 3,975	m		
		T 3 – 4 (B)	971	m²				84 8 - (2) 型わく C 3,502	m²		
84	84 8 - (2)	型わく C	3, 502	m²							

丁事名) 北海道構断自動車道 蘭鳥トンネル丁事

		誤						正				
単価表 (11 頁)												
	ijk ·	価 表			B- 11 頁		単価多	ı.				В-
	番号 項目番号 項	数量	単位 単 価	金 額	摘 要	番号 項目番号	項目	数量	単位	単価	金 額	摘
	121 12 - (4) 鋼アーチ支保工 D II 1 - a (H)	70	基			121 12 - (4)	鋼アーチ支保工 D II 1 - a (H)	70	基			
	122 12 - (4) 鋼ブーチ支保工 □ II 2 - a (H)	150	基			122 12 - (4)		150				
	123 12 - (4) 鋼アーチ支保工 D III a (H)	115				123 12 - (4)	銅アーチ支保工					
	124 12 - (4) 鋼アーチ支保工	70				124 12 - (4)	DⅢ a (H) 鋼アーチ支保工	115				
	DIII s (H) 125 12 - (6) ずり処理工					125 12 - (6)	DⅢs (H)	70	基			
	A 1 126 12 - (6) ずり処理工	41,530					A 1	41,530	m³			
	A 2 127 12 - (7) インパート埋戻して	60,008	m²			126 12 - (6)	A 2	60,008	m²			
	インバート埋戻し工	6, 575	m			127 12 - (7)	インバート埋戻しエ インバート埋戻しエ	6,575	m²			
	128 12 - (8) 計測工 B 地中変位測定	1	箇所			128 12 - (8)	計測工 B 地中変位測定	5	箇所			
	129 12 - (8) 計測工 B ロックボルトの軸力試験	1	本			129 12 - (8)	計測工 B ロックボルトの軸方試験	5	本			
	130 12 - (8) 計測工 B 吹付けコンクリート応力測定	1	箇所			130 12 - (8)			箇所			
	131 12 - (8) 計測工 B 鋼アーチ支保工店力測定	1	箇所			131 12 - (8)	計測工 B	,				
	132 12 - (8) 計測工 B 地山於料於赎		箇所			132 12 - (8)	網アーチ支保工応力測定 計測T. B	5	箇所			
	167日からいから	1	10171		Д	100 10 (0)	地山武科武験	1	箇所			

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

単価表		誤				正				
(13 頁)										
	単 飯	表	B13 頁		1)¢ 66	表				В-
1	番号 項目番号 項 目	数量 単位	単価 金額 摘要	番号 項目番号	項目	数量	単位	単 価	金 額	hili
	145 12 - (15) 汚靄水処理工 汚靄水処理設備設置工	1 式		145 12 - (15)	汚濁木処理工 汚濁木処理設備設置工	1	式			
	146 12 - (15) 汚調水処理工 汚調水処理設備撤去工	1 式		146 12 - (15)	汚濁木処理工 汚濁木処理設備撤去工	1	式			
	147 12 - (15) 汚濁水処理工			147 12 - (15)		23, 818				
	薬剤 A 2 148 12 - (15) 汚濁水処理工	23, 818 kg		148 12 - (15)	汚濁水処理工	715				
	薬剤 B 149 12 - (15) 汚濁水処理工	715 kg		149 12 - (15)	薬剤 B 汚濁水処理工					
	薬剤 C 2	104, 798 kg		150 15 - (5)	薬剤 C 2	104, 798	kg			
	150 15 - (5) 立入防止機 - 般型積雪地用S2 (1) A	630 m		151 15 - (5)	一般型積雪地用 S 2 (1) A	630	m			
	151 15 - (5) 立人防止権 一般型積雪地用S3 (1) A	1, 123 m			一般型積雪地用 S 3 (1) A	1, 123	m			
	152 15 - (5) 立入防止權 一般型積雪地用S4 (1) A	1, 463 m		152 15 - (5)	一般型積雪地用S4(1)A	1, 474	m			
	153 15 - (6) 立入防止権の出入口	6 簡所		153 15 - (6)	立入防止柵の出入口 一般型積雪地用S2(1)A	6	箇所			
				154 15 - (6)	立入防止柵の出入口 一般型積雪地用S3(1)A	5	箇所			
	- 般型積雪地用S3 (1) A 155 15 - (6) 立入防止権の出入口	5 箇所			立入防止機の出入口 一般型積雪地用S4 (1) A	9	箇所			
	一般型積雪地用S4 (1) A	9 箇所		156 18 - (3)	簡易舗装工					
	156 18 - (3) 簡易舗装工 切込幹石路盤工 (t=22cm)	418 m²			切込碎石路盤工. (t=22cm)	418	mí			

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事 対 正 誤 特記仕様書 15-8 環境保全に関する費用 15-8 環境保全に関する費用 環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書15-1に定める観測、対策工等、15-2に (13 頁) 定める立木の伐採・処理、15-6に定める特別な対策等に要する費用以外は、関連する単価 表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。 表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。 16. 再生資源及び指定副産物の活用 16. 再生資源及び指定副産物の活用 16-1 再生資材の使用 16-1 再生資材の使用 (1) 再生資材は、下記に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。 (1) 再生資材は、下記に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。 単価表の項目 再生資材の種類 適用指針等 2 - (8)基礎材 再生クラッシャーラン 約 160 ㎡ В 4 - (16)裏込め砕石 再生クラッシャーラン 約 70 m³ 裏込め砕石 5-(1)用・排水溝 再生クラッシャーラン 約1 m³ U (S1) · a · b (F) 5 - (1)用·排水溝 再生クラッシャーラン 約1 m³ $\overline{\mathbf{U}}$ (D1, D2) · a · b (F) 18- (3) 舗装再生便覧 簡易舗装工 再生クラッシャーラン 約 90 m³ ((社)日本道路協会) 切込砕石路盤工 (t = 22 c m) 18- (3) 再生密粒度ギャッ 舗装再生便覧 簡易舗装工 プアスファルト混合物 約 10 m³ ((社)日本道路協会) 加熱アスファルト表層工(t = 3 c m) (13F) (2)受注者は前項(1)に示す再生資材の使用にあたっては、その都度、再資源化施設等に品質 (2) 受注者は前項(1)に示す再生資材の使用にあたっては、その都度、再資源化施設等に品質 及び供給可能量の照会(様式-4)を行うものとし、照会結果を監督員に報告するものと する。なお、照会にあたっては、次の手順で再資源化施設等を選定するものとする。 イ) 建設汚泥再生品にあっては、当該工事現場から概ね50kmの範囲内の再資源化施設

- イ) 建設汚泥再生品にあっては、当該工事現場から概ね50kmの範囲内の再資源化施設
- p) 再生骨材等及び再生加熱アスファルト混合物にあっては、当該工事現場から概ね40 k mの範囲内 (再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が 1.5時間の範囲内) の再資源化施設等とする。
- n) 上記(1)、u)に示す以外の再生資材にあっては、関係法令を踏まえて再資源化施設等を 選定する。
- こ) 上記範囲内に複数の再資源化施設等がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明がで

13

環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書 15-1 に定める観測、対策工等、15-2 に 定める立木の伐採・処理、15-6に定める特別な対策等に要する費用以外は、関連する単価

単価表の項目	再生資材の種類	数量	適用指針等
2 - (8) 基礎材 B	再生クラッシャーラン	約 160 ㎡	
4 - (16) 裏込め砕石 裏込め砕石	再生クラッシャーラン	約 170 ㎡	
5 - (1) 用・排水溝 U (S 1)・a・b (F)	再生クラッシャーラン	約1 m³	
5 − (1) 用・排水溝 Ū (D 1 、D 2)・a・b (F)	再生クラッシャーラン	約1 m³	
18- (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=22 c m)	再生クラッシャーラン	約 90 ㎡	舗装再生便覧 ((社)日本道路協会
18- (3) 簡易舗装工 加熱アスファルト表層工 (t=3cm)	再生密粒度ギャッ プアスファルト混合物 (13F)	約 10 ㎡	舗装再生便覧 ((社)日本道路協会

- 及び供給可能量の照会(様式-4)を行うものとし、照会結果を監督員に報告するものと する。なお、照会にあたっては、次の手順で再資源化施設等を選定するものとする。
 - 等とする。
 - p) 再生骨材等及び再生加熱アスファルト混合物にあっては、当該工事現場から概ね40 kmの範囲内(再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が1.5時間の範囲内) の再資源化施設等とする。
 - n) 上記()、p)に示す以外の再生資材にあっては、関係法令を踏まえて再資源化施設等を 選定する。
 - こ) 上記範囲内に複数の再資源化施設等がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明がで

13

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

特記仕様書 (22 頁)

21-2-2 種吹付工

共通仕様書4-9-3(1)に規定する種吹付工の種子の種類及び使用量は、次のとおりとする。なお、種類及び使用量の変更を指示した場合であっても、軽微な場合は契約単価の変更は行わないものとする。

品 種	数量 (g/m²)	摘 要
ケンタッキーブルーグラス	2 g	
クリーピングレッドフェスク	4 g	
トールフェスク	1 2 g	

21-2-3 植生基材吹付工

共通仕様書 4-10-4 (1)に規定する植生基材吹付工の種子の種類及び使用量は、次のとおりとする。なお、種類及び使用量の変更を指示した場合であっても、軽微な場合は契約単価の変更は行わないものとする。

品 種	数量 (g/m²)	摘 要
トールフェスク	8 g	
オーチャードグラス	2 g	
チモシー	0. 6 g	

21-2-4 吹付のり枠工

共通仕様書4-15-1に規定する吹付のり枠工の種別に下記を追加する。

単価表の項目	高さ×厚さ	枠内の中詰め種類
吹付のり枠工 吹付のり枠工A	20 cm×20 cm	植生土のう ㎡当たり6袋

21-2-5 コンクリートブロック積工

共通仕様書4-18-1に規定するコンクリートブロック積工の種別に下記を追加する。

単価表の項目		区分内容
コンクリートフ゛ロック積み工		表面が平滑なコンクリートブロックを使用したブロック積み
コンクリートブ゛ロック積み(練)控35cm	A	衣曲が十個な3/クク゚トク トワクを使用した/ トワク/慎め
コンクリートフ゛ロック積み工		表面が粗面のコンクリートブロックを使用したブロック積み
コンクリートフ゛ロック積み(練)控35cm	В	

21-2-6 基礎工

共通仕様書4-21に規定するコンクリート基礎工の種別は、次のとおりとする。

単価表の項目	使 用 区 分	摘 要
基礎工	コンクリートブロック積みの基礎工	基礎工天端以下
コンクリート基礎工 A (F)	(基礎材有り)をいう。	の掘削を含む
	(裏込めコンクリート厚Ocm)	

21-2-2 種吹付工

共通仕様書 4-9-3 (1)に規定する種吹付工の種子の種類及び使用量は、次のとおりとする。 なお、種類及び使用量の変更を指示した場合であっても、軽微な場合は契約単価の変更は行わないものとする。

TF.

品 種	数量 (g/m²)	摘 要
ケンタッキーブルーグラス	2 g	
クリーピングレッドフェスク	4 g	
トールフェスク	1 2 g	

21-2-3 植生基材吹付工

共通仕様書4-10-4(1)に規定する植生基材吹付工の種子の種類及び使用量は、次のとおりとする。なお、種類及び使用量の変更を指示した場合であっても、軽微な場合は契約単価の変更は行わないものとする。

品 種	数量 (g/m²)	摘 要
トールフェスク	8 g	
オーチャードグラス	2 g	
チモシー	0. 6 g	

21-2-4 吹付のり枠工

共通仕様書4-15-1に規定する吹付のり枠工の種別に下記を追加する。

単価表の項目 高さ×厚さ		高さ×厚さ	枠内の中詰め種類
	吹付のり枠工 吹付のり枠工A	20 cm×20 cm	植生土のう ㎡当たり6袋

21-2-5 コンクリートブロック積工

共通仕様書4-18-2に規定するコンクリートブロック積工の種別に下記を追加する。

単価表の項目		区分内容
コンクリートフ゛ロック積み工		表面が平滑なコンクリートブロックを使用したブロック積み
コンクリートフ゛ロック積み(練)控35cm	A	
コンクリートフ゛ロック積み工		表面が粗面のコンクリートブロックを使用したブロック積み
コンクリートフ゛ロック積み(練)控35cm	В	衣田ハサ性国マフョマクッ゚゚アク ロワクを使用したク ロワク慎み

21-2-6 基礎工

共通仕様書4-21に規定するコンクリート基礎工の種別は、次のとおりとする。

単価表の項目	使 用 区 分	摘 要
基礎工	コンクリートブロック積みの基礎工	基礎工天端以下
コンクリート基礎工 A(F)	(基礎材有り)をいう。	の掘削を含む
	(裏込めコンクリート厚Ocm)	

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事 夶 特記仕様書 機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を 含むものとする。 (26 頁) 単価表の項目 検測の単位 補強土壁工 特一 (5) 21-3 用・排水溝 21-3-1 用・排水溝 (1)用・排水溝の種別に下表を追加する。 単価表の項目 図面の表示 Dv-P(Po) · øD 可撓性高密度ポリエチレン波付管(内面平 Dv-P(Po)- o D 滑)の無孔管をタテ排水溝として使用する もの。継手材料は同質のものを使用し、長 さはD以上とする。 Ev-B (A1) 盛土部に設置する仮排水溝で路床施工時 Ev-B(A1) にV型に仕上げるもの。(掘削含まない。) (2) 共通仕様書5-4-1に下記を追加する。 1) タテ排水溝に使用する可撓性高密度ポリエチレン管の規格は、次のとおりとする。 材質 可撓性のある高密度のポリエチレン波状管 (内面平滑) の無孔管 規格 耐圧強度: 23N/m (230kgf/m)以上 ※1 可撓性 30mm/N (300mm/kgf) 以上 ※2 ※1 耐圧強度試験 気温23±2℃の条件の中で、耐圧試験片長250mmのものを平板載荷により加圧速 量を測定する試験 ※2 可撓性試験 気温23±2℃の条件の中で、可撓性試験片長1300mmのものを500mmの位置

度10mm/分で行った場合における管の内径10%歪時の荷重をm当りに換算した歪

で固定し、先端から5cmの点に5kgの荷重をかけ、1分後のたわみ量を測定する試験

(3) 支払

共通仕様書5-4-4に下記を追加する。

単価表の項目 検測の単位 5-(1)用・排水溝 $D v - P (P o) \cdot \phi D$ Ev-B(A1)

21-3-2 用・排水管

1) 用・排水管に使用する高密度ポリエチレン管は、「土木施工管理要領 IV. 用排水構造物工」 4-2 によるものとする。

26

機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を 含むものとする。

TF.

単価表の項目

検測の単位

特-(5)補強土壁工

m²

21-3 用・排水溝

21-3-1 用・排水溝

(1)用・排水溝の種別に下表を追加する。

単価表の項目	内 容	図面の表示
K(Cb)-Bf • a • b(t)	設計図に示す、コンクリートブロック積み天端部に 施工するもの。	Ds-K(Cb)Bf • a • b(t)
Dv-P (Po) • φ D	可撓性高密度ポリエチレン波付管(内面平滑)の無孔管をタテ排水溝として使用する もの。継手材料は同質のものを使用し、長さはD以上とする。	Dv-P (Po) - φ D
Ev-B (A1)	盛土部に設置する仮排水溝で路床施工時 にV型に仕上げるもの。(掘削含まない。)	Ev-B (A1)

(2) 共通仕様書5-4-1に下記を追加する。

1) タテ排水溝に使用する可撓性高密度ポリエチレン管の規格は、次のとおりとする。

項目	内容
材質	可撓性のある高密度のポリエチレン波状管(内面平滑)の無孔管
規格	耐圧強度: 2 3 N/m (230kgf/m) 以上 ※1
可撓性	30mm/N (300mm/kgf) 以上 ※2

※1 耐圧強度試験

気温23±2℃の条件の中で、耐圧試験片長250mmのものを平板載荷により加圧速 度10mm/分で行った場合における管の内径10%歪時の荷重をm当りに換算した歪 量を測定する試験

※2 可撓性試験

気温23±2℃の条件の中で、可撓性試験片長1300mmのものを500mmの位置 で固定し、先端から5cmの点に5kgの荷重をかけ、1分後のたわみ量を測定する試験

(3) 支払

共通仕様書5-4-4に下記を追加する。

単価表の項目 検測の単位 5 - (1) $K (Cb) - Bf \cdot a \cdot b (t)$ m $Dv - P(Po) \cdot \phi D$ m Ev-B(A1)

21-3-2 用・排水管

(1)材料

1)用・排水管に使用する高密度ポリエチレン管は、「十木施工管理要領 IV. 用排水構造物工」 4-2 によるものとする。

 26

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

対 象	誤			正			
単価表 (31 頁)	(3) 支払 共通仕様書 8 - 2 - 16 に下記を追加する。 <u>単価表の項目</u> 8 - (1) コンクリート C 2 - 1 (T) T 3 - 4 (A) T 3 - 4 (B)	<u>検測の単位</u> ㎡ ㎡ ㎡		(3)支払 共通仕様書8- 8-(1)	- 2 - 16 に下記を追加する。 <u>単価表の項目</u> コンクリート C 2 - 1 (T) T 3 - 4 (A) T 3 - 4 (B)	<u>検測の</u> 単 ㎡ ㎡ ㎡	<u>论位</u>
	21-5-2 型わく工 (1)型わくの種別 共通仕様書8-3-2に下表を追加する。 単価表の項目 使用簡所 C(T) トンネル坑口の坑門工 T(L) 中流動覆エコンクリートを使用する本坑標準部のアーチ及び側壁部 (2) 共通仕様書8-3-6に下表を追加する。 単価表の項目 検測の単位 8-(2) 型わく C(T) m² T(L) m²		チ及び側壁部	21-5-2 型わくエ (1)型わくの種別 共通仕様書8-3-2に下表を追加する。 単価表の項目 使用簡所 C(T) トンネル坑口の坑門エ T(L) トンネル覆工(非常駐車帯部)		走 用 箇 所	
				(2) 共通仕様書 8 - 3 - 6 に下表を追加する。 <u>単価表の項目</u> 8-(2) 型わく C(T) T(L)		<u>検測の単</u> ㎡ ㎡	
	(1)鉄筋の種別 共通仕様書8-4-2に下表を追加する。 単価表の項目 使用箇所	継手の種類	鉄筋種別	(1)鉄筋の種別	-4-2に下表を追加する。 使用簡所	継手の種類	鉄筋種別
	鉄筋 トンネル本体部 A (T) (坑門工を除く)	重ね継手	SD345	鉄筋 A(T)	トンネル本体部(坑門工を除く)	重ね継手	SD345
	鉄筋 鉄筋コンクリート構造物 鉄筋 サンプリート構造物		SD345 D13~D41 SD490	鉄筋 B 1 鉄筋	鉄筋コンクリート構造物	ガス圧接継手 機械継手 ガス圧接継手	SD345 D13~D41
	B 2 鉄筋コンクリート構造物 鉄筋 鉄筋コンクリート構造物	ガス圧接継手	SD490	野筋 B 2 鉄筋	鉄筋コンクリート構造物	機械継手がス圧接継手	SD490 D13~D41 SD490
	B3 機械継手 D51 (2)支払 共通仕様書8-4-7に下記を追加する。 単価表の項目 検測の単位			B3 (2)支払 共通仕様書8-	鉄筋コンクリート構造物 -4-7に下記を追加する。 単価表の項目	機械継手検測の単	D 5 1
	8-(3) 鉄筋 A(T) 31	t		8-(3)	鉄筋 A (T) 31	t t	<u></u>

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

対象 単価表 (33頁) 12)トンネル掘削DII 2-a:地山の岩質は全体的に強い風化・変質作用を受けたものや、層状をなす岩で層理・片理が非常に顕著なもの。あるいは転石を多く混じえた上砂等。掘削切羽の自立性が悪く、変位が大きく変形余裕を見込む必要があり、地山状況によってはリングカットや軽微な鏡吹付け等を必要とし、主に支保パターンDII 2が有効なもの。 (3) 掘削 不良地山等におけるトンネル掘削において、掘削方式・掘削方法・支保工等の工事及び設計の見直し、湧水対策・可燃性ガス噴出対策・切羽安定対策等の補助工法や対策工の追加及び変更が必要となった場合、受注者はトンネルを掘削するために必要な工事及び設計を見直すとともに、トンネル掘削に必要な補助工法及び対策工を行うものとし、監督員がトンネルを掘削するために必要な工事及び設計を見直

(4) 工事用水

議し定めるものとする。

トンネルに必要な工事用水は、本特記仕様書7. によるものとする。ただし、受注者の責 に帰さない理由により、工事に必要な水量が給水できないと監督員が認めた場合は、新たな 給水方法及びこれに要する費用については、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

21-6-2 吹付けコンクリート工

(1) 吹付けコンクリート工の種別

共通仕様書 12-5-3に下表を追加する。

単価表の項目	吹付けコンクリートの 材令 28 日強度	施工箇所
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンCⅡ
吹付けコンクリートA (t=7cm) CII-a-i	36IN / mm -	— a — i — K に使用
吹付けコンクリート工	26NI / 2	主に支保パターンCⅡ
吹付けコンクリートA(t=7cm)CII-b-i	36N/mm ²	— b — i — K に使用
吹付けコンクリートエ	36N/mm ²	主に支保パターンCⅡ
吹付けコンクリートA (t=10cm) C II-L	36IN/ mm	- K-Lに使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンD I
吹付けコンクリートA (t=10cm) DI-a	36IN / mm -	— a — K に使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅡ
吹付けコンクリートA (t=15cm) D II 1-a	36IN/ mm-	1 — a — K に使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅡ
吹付けコンクリートA (t=15cm) D II 2-a	36N/ mm-	2 — a — K に使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅢ
吹付けコンクリートA (t=20cm) DⅢa	36IN/ mm -	a-Kに使用
吹付けコンクリート工	26 NI / 2	主に支保パターンDⅢ
吹付けコンクリートA (t=20cm) DⅢs	36N/mm ²	s -Kに使用

33

12) トンネル掘削 D II 2-a: 地山の岩質は全体的に強い風化・変質作用を受けたものや、層状をなす岩で層理・片理が非常に顕著なもの。あるいは転石を多く混じえた土砂等。掘削切羽の自立性が悪く、変位が大きく変形余裕を見込む必要があり、地山状況によってはリングカットや軽微な鏡

吹付け等を必要とし、主に支保パターンD II 2 が有効なもの。

正

13)トンネル掘削 DⅢs: 坑口部あるいは土被りの薄い個所等で地山状況によっては、リンク カットや軽微な鏡吹付け、長尺鋼管フォアパイリング等を必要とし、 主に支保パターン DⅢs(H)が有効なもの。

(3) 掘削

不良地山等におけるトンネル掘削において、掘削方式・掘削方法・支保工等の工事及び設計の見直し、湧水対策・可燃性ガス噴出対策・切羽安定対策等の補助工法や対策工の追加及び変更が必要となった場合、受注者はトンネルを掘削するために必要な工事及び設計を見直すとともに、トンネル掘削に必要な補助工法及び対策工を行うものとし、監督員がトンネルを掘削するために必要と認めた場合、これに要する費用については、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

(4) 工事用水

トンネルに必要な工事用水は、本特記仕様書7. によるものとする。ただし、受注者の責に帰さない理由により、工事に必要な水量が給水できないと監督員が認めた場合は、新たな給水方法及びこれに要する費用については、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

(5) 支払

共通仕様書12-4-9に下記を追加する。

<u>単価表の項目</u> 12-(1) トンネル掘削 検測の単位

(1) トン不ル畑目 ○ s − K

m³

21-6-2 吹付けコンクリートエ

(1) 吹付けコンクリート工の種別

共通仕様書 12-5-3に下表を追加する

- 共通任保書 12-3-3に下衣を追加する。		
単価表の項目	吹付けコンクリートの 材令 28 日強度	施工箇所
吹付けコンクリート工	36 N/m m ²	主に支保パターンCⅡ
吹付けコンクリートA (t=7cm) CII-a-i	301 \ / IIIII	— a — i — K に使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンCⅡ
吹付けコンクリートA (t=7cm) C II-b-i	3014/111111	— b — i — K に使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンCⅡ
吹付けコンクリートA (t=10cm) CⅡ-L	301N / III III	- K-Lに使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDI
吹付けコンクリートA (t=10cm) DI-a	301N / III III	— a — Kに使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅡ
吹付けコンクリートA (t=15cm) D II 1-a	361N / III III -	1 — a — Kに使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅡ
吹付けコンクリートA (t=15cm) D II 2-a	3011/111111	2 — a — Kに使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅢ
吹付けコンクリートA (t=20cm) DⅢa	301N / m m -	a-Kに使用
吹付けコンクリート工	36N/mm ²	主に支保パターンDⅢ
吹付けコンクリートA (t=20cm) DⅢs	301V/ IIIIII	s-Kに使用

33

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

対 象		誤		正		
特記仕様書	割掛対象表の項目名称	工事の内容	割掛対象表の項目名称	工事の内容		
(43 頁)	仮置場造成費	トンネルずり仮置場における表土剥取り、沈砂池の造成及び復旧に要する費用	仮置場造成費	トンネルずり仮置場における表土剥取り、沈砂池の造成及び復旧に要 する費用		
	二次施工鉄筋防錆費	橋脚・壁高欄・踏掛版アンカー等のコンクリート打ち残し部露出防錆に要する費用をいう。防錆材の耐用年数は以下に示す期間以上とする。【蘭島橋:6~24ヶ月間】	二次施工鉄筋防錆費	橋脚・壁高欄・踏掛版アンカー等のコンクリート打ち残し部露出防錆 に要する費用をいう。防錆材の耐用年数は以下に示す期間以上とす る。【蘭島橋:6~24ヶ月間】		
		す工事の内容は、共通仕様書第1章総則「表1-1 割掛対象表の項 こかかわらず、次のとおりとする。	(=/ [4.37]) 4-4.77	デオ工事の内容は、共通仕様書第1章総則「表1-1 割掛対象表の項にかかわらず、次のとおりとする。		
	割掛対象表の項目名称	工事の内容	割掛対象表の項目名称	割掛対象表の項目名称 工事の内容		
	工事用機械運搬費	質量 20 t 以上のトンネル用建設機械の貨物自動車等による運搬及び	工事用機械運搬費	質量 20 t 以上のトンネル用建設機械の貨物自動車等による運搬及び		
	(トンネル)	運搬時の損料に要する費用をいう。	(トンネル)	運搬時の損料に要する費用をいう。		
	工事用機械分解組立費 (道路土工)	土工工事の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃 料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費 (道路土工)	土工工事の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。		
	工事用機械分解組立費 (中層混合処理工)	中層混合処理工に必要な建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費 (中層混合処理工)	中層混合処理工に必要な建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。		
	工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工事に必要な重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工事に必要な重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。		
	工事用機械分解組立費 (場所打ち杭・機械掘 削)	場所打ちコンクリート杭(機械掘削)に必要な重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費 (場所打ち杭・機械掘 削)	場所打ちコンクリート杭(機械掘削)に必要な重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。		
	地質調査等費 (平板載荷試験)	コンクリート構造物(坑門工)で行う平板載荷試験に要する費用をい う。	地質調査等費 (平板載荷試験)	コンクリート構造物 (坑門工) で行う平板載荷試験に要する費用をい う。		
	火薬庫費	構造物掘削で必要な火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要す る費用をいう。	火薬庫費	構造物掘削で必要な火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要す る費用をいう。		
	工事用仮橋費	チブタシナイ沢川に設置する工事用仮桟橋の設置、存置、撤去に要す る費用をいう。	工事用仮橋費	チブタシナイ沢川に設置する工事用仮桟橋の設置、存置、撤去に要する費用をいう。なお、仮桟橋の撤去開始時期は平成 28 年 10 月を予定しており、それまでは存置するものとする。		
	橋面仮舗装費	モチヤ沢橋に施工する床版保護用仮舗装の設置に要する費用をいう。 (幅4m、厚さ4cm、再生アスファルトコンクリート舗装)	橋面仮舗装費	モチヤ沢橋に施工する床版保護用仮舗装の設置に要する費用をいう。 (幅4m、厚さ4cm、再生アスファルトコンクリート舗装)		
	工事用進入路設置撤去 費 (蘭島橋)	市道塩谷蘭島山手通から蘭島橋橋脚施工箇所への進入路 (土工部)を 設け、施工完了後に再び原形に復旧するのに要する費用をいう。	工事用進入路設置撤去 費 (蘭島橋)	市道塩谷蘭島山手通から蘭島橋橋脚施工箇所への進入路(土工部)を 設け、施工完了後に再び原形に復旧するのに要する費用をいう。		
	足場工費 (トンネル非常駐車帯)	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	足場工費 (トンネル非常駐車帯)	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。		
	足場工費 (坑門工)	トンネル坑門工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	足場工費 (坑門工)	トンネル坑門工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。		
	支保工費	坑門工施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、	支保工費	坑門工施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、		
	(坑門工)	仮設の支保構造物に要する費用をいう。	(坑門工)	仮設の支保構造物に要する費用をいう。		
		43		43		

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

誤	正
2	D
	2

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

対 象	誤							正										
設計図			1底坐示11/	測定頻度								(1斯面当り)	測定頻度			地山試料試懸	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
トンネルエ		(1断面当り) 断面 D 12-(H)-K		切羽との離れ						断面 D II	P= (H) =K		切羽との離れ	变位速度	頻度	試験項目	数量	
(フゴッペトンネル)	計測項目			0~0.5D	10mm/日以下	2回/1日以上		計 測 項 目			備考	0~0.5D	10mm/日以下	2回/1日以上	単位体積重量試験	1 シリーズ		
(フゴッペトンネル)		記号	数量	0.5~2D	5~10mm/⊟	10/18	_	_		記号 E1~E5			0.5~2D 2~5D	5~10mm/⊞	10/18	含水比試験 一軸圧縮試験	1シリーズ	
(40/×0 =)	地中変位測定	E1~E5	5箇所	2~5D	1~5mm/⊟	1回/2日	8	2+ -	地中変位測定	M1~M5	5箇所 5 本		50以上	1~5mm/日 1mm/日以下	1回/2日	三軸圧縮試験	1シリーズ	
(48/58 頁)	計 ロックボルト軸力試験	M1~M5	5箇所	50以上	1mm/日以下	1回/1週	3	301	次付コンクリート応力測定	T1~T5	5箇所	A	*****		,	圧製引張試験	1シリーズ	
	測 吹付コンクリート応力測定	T1~T5	5箇所					В	鋼アーチ支保工応力測定	H1∼H5	5箇所	2						
	B 鋼アーチ支保工応力測定	H1∼H5	5箇所						地山試料試験		1箇所							
	地山試料試験		1箇所															
	·																	

工事名) 北海道横断自動車道 蘭島トンネル工事

対 象	誤	正
設計図		
トンネルエ		
(フゴッペトンネル)		
(48/58 頁)		10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1